

## 実質化された経営再開マスタープラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日(9回目)	更新年月日(8回目)
八戸市	市川地区 (轟木、和野、高屋敷、赤畑尻引、桔梗野、向谷地、浜市川、橋向、古場蔵)	令和3年10月	平成31年3月

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(※田:535ha+畑:149ha=684ha)	684 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	455 ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	380 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	144 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	51.20 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、65歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が多く、新たな農地の受け手の確保が必要。
--

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

市川地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者、認定新規就農者、営農法人等、計30経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
--

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

単一の農業経営ではなく、水稻、小麦、大豆、いちごを中心とした複数部門による農業経営を行い、地域農業を維持させていく。
--